



# コミュニティで 支える“心の育ち” being《存在》を大切にすること

田中 哲 著

多動、自閉傾向、HSP…、「レットル」を外してその子自身の《存在》にどう目を向けるのか——。児童精神科医として長年子どもたちと向き合ってきた著者が、“コミュニティで子どもを育てる”という観点から、現代社会を生きる私たちに問われていることを考える。

田中 哲（たなか・さとし）

1953年、東京都生まれ。北海道大学医学部卒業後、同大学医学部精神科に入局。1983年、市立札幌病院静療院児童部を中心に児童精神科医としての活動を開始。北小田原病院副院長、神奈川県中央児童相談所虐待対策班嘱託医、山梨県中央児童相談所嘱託医、東京都立梅ヶ丘病院精神科部長、同病院副院長、東京都立小児総合医療センター副院長・子ども家族支援部門長を経て、現在、子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ院長。日本児童青年精神医学会理事、日本子どもの虐待防止研究会評議員。著書には『見えますか、子どもの心』『発達障害とその子「らしさ」』『“育つ”こと、“育てる”こと』（以上、いのちのことば社）、監修に『発達障害のある子を理解して育てる本』『自閉症スペクトラムのある子を理解して育てる本』（以上、学研プラス）などがある。

B6判 120頁 定価1,430円(本体1,300円+税)  
ISBN978-4-264-04533-5 C0037  
いのちのことば社卸コード 09305